

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポートほっぷ		
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年3月21日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先との関係機関をはじめ、こどもの繋がりづくりを意識した連携に積極的に取り組んでいる	こども・保護者・関係機関（訪問先の先生方や、行政職員など）を繋げる目的で、ミーティングや会議などに積極的に取り組んでいる	事業所の理念でもある、繋がりづくりについて触れたプレゼンを作成し、訪問先の機関の先生方に説明する
2	上から目線での意見ととらえられてしまうことがないよう、対等な関係性を大切にし、派遣先の機関から教えていただくというスタンスや態度で支援できている	訪問先の先生方とは、助言ベースではなく、質問ベースでコミュニケーションをとるように意識している。	上記同様、自分たちが本事業において、訪問先の機関との間で大切にしたいと考えている関係性についてもプレゼンを作成し、訪問先の機関の先生方に説明する
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者アンケートにおいて、すべての設問において“はい”の回答となっている。 理解して頂けているという考え方ができる一方で、書面や面談といった間接的な方法でしか、支援の際の様子を伝えられていないため、支援内容について保護者に十分に伝えられておらず、よくわからないままに回答していただいた結果とも考えられる	両親ともに仕事をしている保護者が主であり、訪問時の様子を現場で一緒に確認しあえる機会がない	動画などで記録を取り、保護者と共有する機会を作る
2			
3			